

2012年7月6～9日
東京におけるアフガニスタン市民社会関連のイベント
～アフガニスタン市民社会を迎えて～

はじめに

2012年7月8日に開催予定のアフガニスタン東京会合は、「移行」期におけるアフガニスタンに関する最後の主要な国際会合となる予定です。アフガニスタン政府と国際社会による2014年以降の「変革の10年」へのコミットメントを決定づける重要な会議であると言えます。東京会合への準備として、200を超える市民社会の代表者が、2012年5月29～30日にかけて、アフガニスタン中からカブールに集まりました。この集まりにおいて、カブールから14名、アフガニスタンの8つの地域から16名が、東京においてアフガニスタンの市民社会を代表する者として選ばれました。男性が15名、女性が15名です。2012年6月9～10日には30名の代表者が再び集まり、東京会議での発言者2名を選びました。Hayatullah Hayat 氏（男性、Organization for Social Development and Legal Rights 代表）とSamira Hamidi 氏（女性、Afghan Women's Network 代表）の2名です。東京会合に参加する代表団は、他の市民社会ジョイント・ワーキンググループのメンバーとともに、東京会合に関する集中的な議論を行い、2012年7月2日に最新の「アフガニスタンに関する東京会合に際してのアフガニスタン市民社会の要請」を発表しました。

東京におけるアフガニスタン市民社会関連のイベント

東京会合の開催に伴い、アフガニスタンの市民社会が国際社会と一般市民に向けた政策提言を行うフォーラムの場として、一連の市民社会のイベントが催されます。

2012年7月6日 [10:00 - 17:00] アフガニスタン市民社会会合プレイベント：テーマ別ディスカッション

アフガニスタン市民社会による議論が6つのテーマに沿って行われます。この会議の目的は、翌日に開催される【アフガニスタンに関する東京会合CSOパラレルイベント】での発表内容を最終確認・調整することです。

2012年7月7日 [14:00 - 17:00] アフガニスタンに関する東京会合CSOパラレルイベント～アフガニスタン市民社会を迎えて～

アフガニスタン市民社会が提言を行い、アフガニスタン市民社会代表と国際社会代表が議論を行います。

2012年7月8日 アフガニスタンに関する東京会合

日本政府主催の「アフガニスタンに関する東京会合」では、アフガニスタン市民社会からは上記2名の代表者が発言し、他のメンバーは全員オブザーバーとして参加します。東京会合の閉幕後、アフガニスタン市民社会代表は記者会見を開き、東京宣言の成果について評価、コメントを発表する予定です。

2012年7月8日 [10:00 - 13:00] アフガニスタンCSO会合総括イベント

アフガニスタン市民社会代表は午前中のセッションで東京宣言を振り返り、東京会合以後のフォローアップの計画について議論します。

主催

一連のCSOのイベントは、アフガニスタンの市民社会ジョイント・ワーキンググループ(CS-JWG)及び日本のアフガニスタンに関する東京会合CSO実行委員会（実行委員会）が主催しています。CS-JWGはアフガニスタン市民社会を幅広く代表する25以上の組織・団体の共同体であり、ボン会議のフォローアップと東京会合の準備活動のため、市民社会間の連携を維持・展開するためのメカニズムとして設立されました。実行委員会は、アフガニスタンにおける支援や政策提言に関わってきた18の日本の市民社会組織の共同体です。

共催・後援

これらのイベントは、ジャパン・プラットフォームとアジア財団との共催であり、国連大学、外務省、アメリカ国際開発庁の後援を受けています。